***2026 年 7 月改訂（第 10 版）
**2025 年 3 月改訂（第 9 版）

医療機器認証番号：15800BZY00653000

機械器具 56 採血又は輸血用器具
管理医療機器　血液フィルタ JMDN 35071000

輸血フィルター ＳＱ４０ｓ

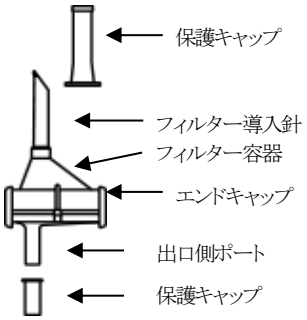
再使用禁止

【禁忌・禁止】
再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

本品はポリプロピレン容器に 40μｍのポリエステルスクリーン膜をもつ輸血フィルターで、輸血に供する血液製剤中の微小凝集塊を除去する目的で使用される。
本品は、エチレンオキサイドガス滅菌済みである。

本品は、上部に入口を、下部に出口を有した容器に、３層のフィルター膜がプリーツ状に配置してある。フィルター膜は、40μｍのスクリーン膜とこの膜をプリーツ保持するための網目状のサポート膜の２種類から構成されている。



原材料
フィルター容器：ポリプロピレン
フィルター膜（スクリーン膜）：ポリエステル
フィルター膜（サポート膜）：ポリプロピレン

＜原理＞

フィルター導入針より流入した血液は、フィルター膜を通過する際に、40μｍ以上の微小凝集塊、異物が除去されて、出口側ポートより流出する。

【使用目的又は効果】

人全血等血液製剤の微小異物を除去すること。

【使用方法等】

輸血時に輸血セットとともに使用し、輸血血液中の微小凝集塊を除去する。

血液バッグへの装着

1) 本品を包装袋から取り出し、出口側ポートに輸血セットのスパイク針をしっかりと接続する。
2) 輸血セットの流量調節クランプを点滴筒の近くへ移動し、しっかりと閉じる。
3) フィルター導入針の保護キャップをはずし、フィルター導入針を軽くひねりながら血液バッグに針基まで差し込む。

フィルターと点滴筒の充填

1) 血液バッグを逆さにして一方の手に持ち、もう一方の手で流量調節クランプを緩める。この時、血液バッグ、フィルター、点滴筒が垂直に一直線になるように持つ。
2) 血液バッグを軽く握るようにして血液をフィルターに充填する。血液バッグを握り直さずに、一気に充填する。握り直すと空気の抜けが難しくなる。
3) 点滴筒が適量まで満たされたら、流量調節クランプを閉じる。
4) 血液バッグをガートル台にかけ、調節クランプを開けて残った輸血セットの残りの部分を充填する。

フィルターに入った空気の抜き方

フィルターに少量（10mL 程度）の空気が入っても、流れが悪くなることはない。万一、それ以上の空気が入ったときには、次の操作で空気を血液バッグに押し出す。
1) 輸血セットのクランプを閉じる。
2) フィルターと点滴筒の間を折り曲げ、点滴筒のみを逆さにする。
3) 血液バッグをガートル台にかけたまま、２～３回握ったり離したりする。
4) フィルター内の空気と血液バッグ内の血液が置換されて、空気抜きが完了する。

血液バッグの取り替え方

1) フィルター内に空気を入れないために、先ず、輸血セットのクランプを閉じる。
2) 血液バッグ内のわずかな残血を床等に滴下させないために、血液バッグをガートル台から外した後、スパイク針を抜く。

＜使用方法に関連する使用上の注意＞

1) 開封後は無菌的に操作すること。
2) 充填時に液漏れがないことを確認して使用すること。
3) 使用中は、本品の破損、接続部の緩み及び液漏れがないことを確認すること。
4) フィルターは血液製剤中の凝集物により流量が低下することがある。所定の流量がとれない場合は、新しいフィルターに交換すること。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞
1) 使用前に、製品に破損や異常等がないことを確認すること。
2) セットの保護キャップが緩んだり外れたりしている場合は使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

＜有効期間＞
滅菌後５年［自己認証(当社データ)による］

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：
ＧＶＳジャパン株式会社
TEL (03) 5937-1447

***外国製造業者：**
GVS TM Inc.
(GVS 社) アメリカ